

昨年度いただいたご意見への対応状況 (農林水産業版タウンミーティング農業版)

○バサラコーンの産地化に向けた支援について

市では、バサラコーンの作付面積拡大に向け、「地域振興作物等産地化推進事業」において、単価の見直しを行い、令和2年度、1a当たり160円から300円に増額しました。

また、青森市地域農業再生協議会では、国と協議し、令和元年度、産地交付金の単価を10a当たり3万5千円から4万円に増額しました。



青森県産なみおか「バサラコーン」

○野沢地区の農道整備計画の進行状況について

県営野沢3期地区畑地帯総合整備事業の事業化に向け、令和元年10月9日に地元説明会を開催しました。

令和3年3月に県から国へ事業申請するために、現在、樽沢地区・女鹿沢地区防除組合との協議及び資料を作成しており、国からの採択後、令和3年度から県営野沢3期地区畑地帯総合整備事業に着手する予定となっております。



県営野沢3期地区畑地帯総合整備事業の
地元説明会の状況（女鹿沢農村センター）

○農業振興センターにおけるスマート農業機器の導入

今年度、農業振興センターにおいて、温度調節のためにビニールハウス側面の開閉作業を自動で行う「自動換気システム」をトマト栽培に導入し、作業時間の短縮等について検証しています。

また、研修生に対して、「自動換気システム」をはじめとしたスマート農業についての説明を行いました。



トマト栽培に導入した「自動換気システム」